

社会資本総合整備計画														防災・安全交付金		令和05年01月13日	
計画の名称	尾道市公共下水道（防災・安全）（重点計画）																
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）												重点配分対象の該当		○		
交付対象	尾道市																
計画の目標	浸水対策として雨水ポンプ場及び雨水幹線の整備を行い、市民の安全を確保する。																
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		776	A	776	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）		0	%		

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R7末	R9末
1	浸水シミュレーションにより内水浸水想定区域図を作成すべき面積のうち作成した割合を0%から100%に増加			
	内水浸水想定区域図の作成率	0%	100%	100%
	浸水シミュレーションにより作成した内水浸水想定区域図の面積 / 内水浸水想定区域図を作成すべき面積			
2	下水道による都市浸水対策達成率を82%から86%に増加			
	下水道による都市浸水対策達成率	82%	82%	86%
	5 年に 1 回程度発生する規模の降雨に対応する下水道整備が完了した区域の面積 / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積			
3	下水道による浸水対策を計画的に実施するための雨水管理総合計画策定率を0%から100%に増加			
	雨水管理総合計画の策定率	0%	100%	100%
	策定済み雨水管理総合計画（計画） / 策定すべき雨水管理総合計画（計画）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

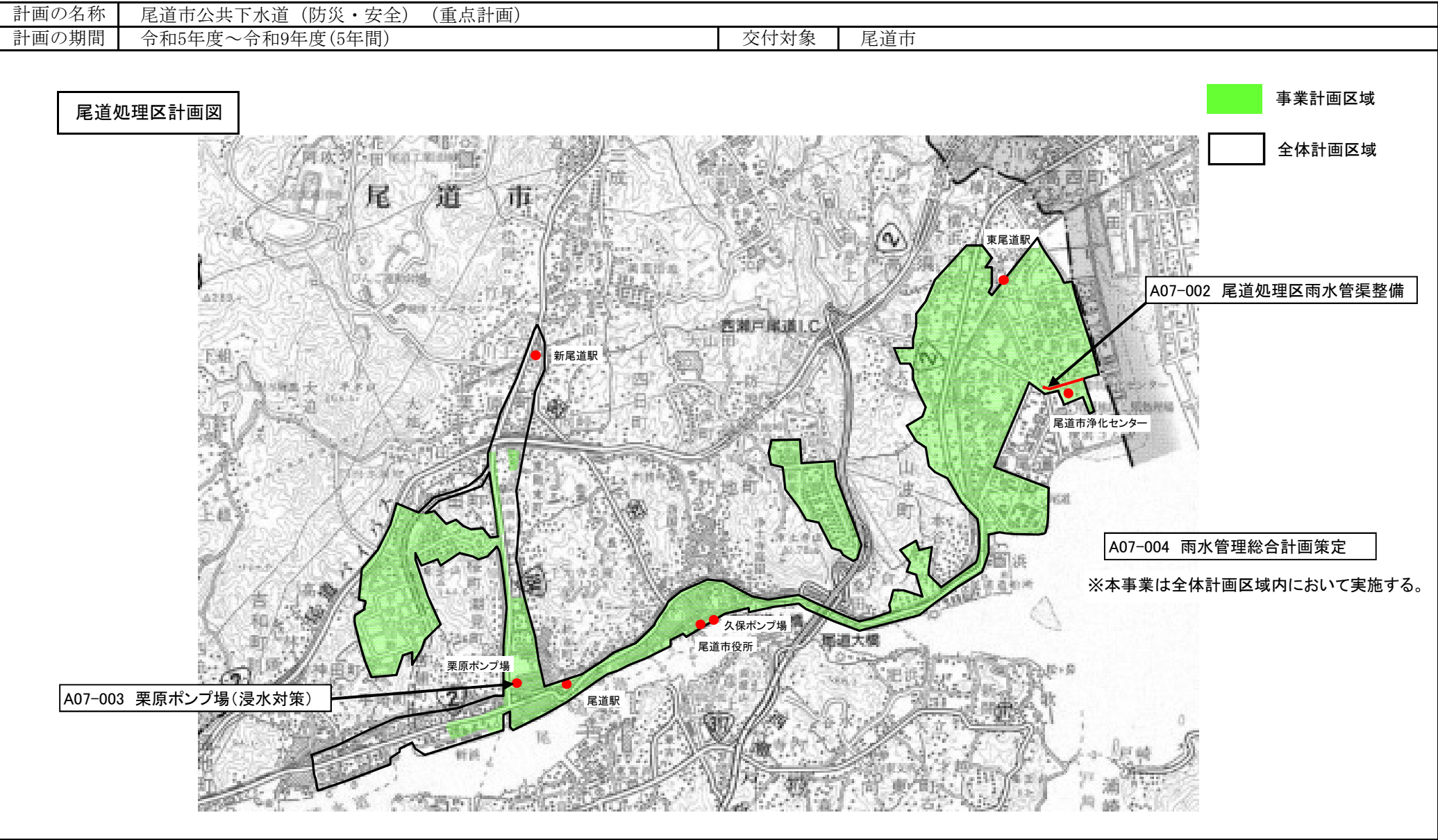
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	-	-	内水浸水想定区域図作成	内水浸水シュミレーション	尾道市	■					13		-
	A07-002	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	管渠（ 雨水）	新設	尾道処理区雨水管渠整備	雨水管きょ 新設	尾道市	■	■	■	■	■	202		-
	A07-003	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	ポンプ 場	改築	栗原ポンプ場（浸水対策 ）	雨水ポンプ場 改築・増設	尾道市		■	■	■	■	550		-
	A07-004	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	-	-	雨水管理総合計画策定	雨水管理総合計画策定	尾道市		■	■			11		-
											小計						776		
											合計						776		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06			
配分額 (a)	33	55			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	33	55			
前年度からの繰越額 (d)	56	0			
支払済額 (e)	89	40			
翌年度繰越額 (f)	0	15			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本総合整備計画



事前評価チェックシート

計画の名称： 尾道市公共下水道（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と事業との関係 1) 事業による目標達成の可能性が高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 事業実施のための環境整備が図られている。	○